

# ウムチョ ムゥイーザ通信 No. 4 1

ルワンダ語で「良い文化学園」の意味を表します。

## 15年の歩み



長男サムエルさん撮影

2015年6月14日

NPO法人ルワンダの教育を考える会

理事長 永遠瑠<sup>とわり</sup> マリールイズ

「ルワンダの教育を考える会」が出来て早いもので15年が経ちました。活動が続けてこられたのは皆様の温かいご協力のおかげです。心から感謝申し上げます。

思い起こせば21年前にルワンダで起きた内戦それに続いたジェノサイドによって私たちは夢も希望もなくしていました。ルワンダの自宅を追われ各地を転々としながら難民キャンプへたどりつきました。必死の生活の中、夫と私、子ども達3人は1994年12月28日友人たちの力によってようやく、日本へとたどりつきました。私たち家族は長い不安な毎日から解放されたのです。日本で迎えた最初の夜、子ども達の布団の中の安らかな寝顔が今も忘れることができません。

それから希望と夢を持つ日々が始まりました。

「ルワンダの子ども達に教育を」、との思いで始めた学校づくりの夢、ルワンダのウムチョムゥイーザ学園を建設し始めてから早いこと15年がたちました。現在幼稚園、小学校で学ぶ子どもは260名を数えるまで成長しました。

戦争によって夢と希望をなくしていた子ども達に教室で学ぶことでその人らしく生きていけるように様々な支援活動をつづけています。今年はルワンダの学校で、新たなプロジェクトを開始しました。長年待ちに待った給食室が完成、そして4月から子ども達に給食を食べさせることができました。同じ釜の飯を共にいただく喜びを子ども達だけではなく先生方の声をとおして感じることができます。

それとこちらも待ち望んでいた命をはぐくむ教育支援プロジェクト。AMD Aの協力によってフェリシモ地球基金を頂きました。4月には健康診断も始めました。そして、なんと、健康診断の初日、重い心臓病を患っていた子どもが見つかりました。すぐに小児科へ紹介し現在治療を受けています。もしこのプログラムをはじめなかったらこの子はどうなっていたのだろと考えると、早くこの健康診断を初めて良かったと思います。応援してくださった皆さんがいてくださったからこそできたことです。

東日本大震災から4年間がたちました。今も仮設住宅に住む皆様との月一回のルワンダカフェが続けています。各地から参加してくださっている皆様そして支援金を送ってくださっている皆様に心から感謝しています。

ルワンダの教育を考える会の活動は支えてくださる皆様がいるからこそ前を向いて歩くことができます。これからも共に生きる喜びをたくさんの方々と分かち合っていける活動が続けてまいります。



※ AMD A（アムダ）とは、相互扶助の精神に基づき、災害や紛争発生時、医療・保健衛生分野を中心に緊急人道支援活動を展開。世界30か国にある支部のネットワークを生かし、多国籍医師団を結成して実施している岡山県にあるNGOです。1994年ルワンダでマリールイズがAMD Aの通訳として難民キャンプでお世話になりました。



# ウムチヨムイーザ学園の会計報告 2015年度1学期(1月～4月)

## 学費の納入状況の報告

\*2015/4/30現在時価換算による。

| 納入状況                                                                                             | 幼稚園 |    |    | 小学校 |    |    |    |    |    | 合計  | 金額        |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|----|----|-----|----|----|----|----|----|-----|-----------|
|                                                                                                  | 年少  | 年中 | 年長 | 1年  | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 |     |           |
| 100%                                                                                             | 14  | 8  | 20 | 14  | 27 | 22 | 15 | 20 | 13 | 153 | 1,817,980 |
| その他                                                                                              | 1   | 3  | 2  | 2   | 2  | 0  | 0  | 3  | 1  | 14  | 80,672    |
| 0%                                                                                               | 1   | 5  | 3  | 5   | 21 | 15 | 12 | 3  | 4  | 69  | 0         |
| 合計                                                                                               | 16  | 16 | 25 | 21  | 50 | 37 | 27 | 26 | 18 | 236 | 1,898,652 |
|  予算額            |     |    |    |     |    |    |    |    |    |     | 2,804,152 |
|  不足金額(日本からの支援額) |     |    |    |     |    |    |    |    |    |     | 905,500   |



(1人あたり=70,000ルワンダフランを約11,882円に換算)

完納が前学期155名から153名へ! 0%が67名から69名へ



## 2015年1月1日～4月30日会計報告

### 〔収入〕

### 〔支出〕

単位:円

| 項目        | 金額        | 項目      | 金額        |
|-----------|-----------|---------|-----------|
| 学費(滞納分含む) | 2,996,590 | 給料・手当   | 2,696,940 |
| 入学登録料     | 39,890    | 社会保険料   | 215,398   |
| 学校保険掛金    | 21,218    | 税金      | 299,439   |
| パソコン教室収入  | 113,305   | 職員食事代補助 | 93,190    |
| ピアノリース収入  | 36,326    | 光熱費     | 47,174    |
| 制服販売収入    | 175,432   | 通信費     | 28,755    |
| ユニホーム作成販売 | 6,790     | 印刷費     | 103,889   |
| 多目的室賃貸収入  | 174,838   | 交通費     | 96,619    |
| バス運行収入    | 0         | 会議・研修費  | 174,108   |
| 水販売収入     | 2,801     | 施設維持費   | 140,168   |
| その他の収入    | 32,201    | その他の支出  | 172,122   |
| 考える会からの支援 | 1,515,840 | 奨学金     | 12,986    |
| 個人寄付      | 55,167    | 備品      | 109,486   |
| 補助金       | 0         | 建設費     | 0         |
| 繰越金       | 1,428,660 | 交際費     | 144,895   |
| 個人からの返済   | 271,593   | 銀行手数料   | 30,921    |
|           |           | 制服仕入れ代  | 196,956   |
| 合計        | 6,870,651 | 合計      | 4,563,046 |

残金

2,307,605

四月二十日から二学期がスタートしましたーそして念願の給食もスタートーみんなおいしそうにモリモリ食べていました。



インバンシ



ごはん  
豆と人参の煮物  
バナナのソテー

幼稚園の先生もパソコンが出来るようになりました。

# てるちゃん日記

ルワンダでは「Izuba」(ルワンダ語で「太陽」)と呼ばれている照子さん  
(当会理事斎藤照子 2012年8月28日からルワンダ在住)の近況をお知らせ  
します。一緒にルワンダで生活している気分を味わってください。



皆さん、こんにちは！お元気ですか？

私はこの5月で77歳の喜寿になりました。

1歳、歳を重ねるたびに逆に心身が若くなるような不思議な感じが  
いたします。何故かわかりませんが、私はこの感覚をととても大切に思  
っております。というのは、この中からいろいろなアイデアが湧いて来るからです。そ  
れをどのようにしたら実現できるか、先生や子供達に役立てられるかを考えるのが楽  
しく、実現できると思った事は即実行し、そこから生まれる皆んなの笑顔が、私の心  
身の滋養となって楽しい循環が始まるからです。

さて、子供達の状況ですが、授業の合間に休み時間はなく、代わりに午前中に30  
分の休みがあります。この時間になると、どの学年の子供達も一斉に歓声をあげて  
外へ飛び出します。それぞれ好きな遊具に向かう子、石蹴りやルワンダ伝統の遊び  
に興じる子、男子はいくつかのグループに分かれて、サッカーまがいのボール遊びを  
します。ボールと言ってもそれは手頃な石ころ、ペットボトル、固いアボガドの小さな  
実だったり、それを敏捷な動きと足さばきで、とても器用にさばいています。

私はこの時間が大好きで、いつも子供達に交じって過ごします。先生達も外で子供  
達と過ごします。授業開始の合図は、大きな木につるしたタイヤの金具を叩くので  
す。遊びに熱中している子供達は、気付かない事が多いので、広い敷地のあちこち  
に散らばった子供達を、先生達が羊飼いの番犬のように、教室へ追いたてます。

私も、のそのそしている子供には「ランニング、ランニング」とお尻を叩いて走らせ  
ます。日本の学校の1時代昔に戻ったような状況ですが、先生達も子供達も皆んな  
素朴で陽気で、経済的には困難な日々ではあっても、生き生きと過ごしています。  
幼稚園のチビちゃん達含めて全てが、かけがえのない愛すべき私の仲間です。

授業については2学期から1年と2年生の音楽の試験を初めてやりま  
した。2学期は、5月、6月、7月の3か月ですが、5月はリズムテスト、6  
月は歌のテスト、7月は1年生はリズムをとりながら歌うテスト、2年生は  
ト音記号や音符の書取りテストです。

本当は、他の教科と違ってテストなどする必要がないと思っています  
が、学校の方針ですので、やる事にしました。皆んなに満点つけたいと  
ころですが、そうもいかず……



さあ、今日はこの辺でストップ。



それでは、また。お元気で……

2015.5.31

IZUBA照子

平成 2 7 年 5 月 1 6 日（土曜日）働く婦人の家にて、総会が開催されました。

ここに平成 2 6 年度の決算を報告いたします。

皆様の支援のおかげで、ウムチョイムイーザ学園では、2 0 1 4 年度末には 8 回目の卒業生を送り出すことができました。2 0 1 4 年度の小学校卒業国家試験の結果は、3 0 名が受験し全員が合格することが出来ました。2 2 名は名門校、8 名が地元の公立校へ進学しました。

フェリシモ・地球の村基金の支援を受けて、子ども達の健康診断を行いました。また、保護者をまじえた健康保健の大切さを理解するワークショップを開催しました。早速、健康診断により病気を抱えた子供が見つかるなど取組の効果が現れました。給食による栄養改善効果を測ることなどもあわせて、定期的に健康診断を行い子供たちの病気の早期発見につなげたい。今後学校の健康診断実施でお子さんの家庭を手始めに、地域の健康意識や医療に対する意識改革が図られることを期待したいと思います。

子どもたちへの給食実施を目的に 3 年前から建設を進めてきた給食室建屋が完成しました。新たに必要になった資金の手当もできて、かまどや炊事・食器具などを揃えて給食を開始することができました。

共に同じ釜の飯をたべることで、融和の心が子供たちに芽生えること、子供たちの成長と健康状態の向上、保護者の就労の場も確保できればとの思いもあります。これから親たちも巻き込んで給食の運営のサポートをして行く予定です。

小学校 4 ・ 5 ・ 6 年生を対象にしたコンピューター授業をスタートしました。早くからコンピューターに触れることで興味を持ってもらい、将来の IT 技術者が育つきっかけになることを願います。

ルワンダ在住のイズーバ（太陽の意味）照子さんを先生に、音楽の授業をスタートしました。音楽の授業時間を設け、子どもたちに音楽、日本の歌などを教えることから始めました。

国内での活動として、会員皆様のご紹介、学校・公民館、各種団体等からの依頼を受けて、福島県をはじめ国内各地、計 6 3 ヶ所で講演を行い平和の尊さ、命の大切さ、教育の重要性を訴えました。

「ルワンダ DAY i n ふくしま」を 7 月 2 0 日（月・海の日）伊達市ふるさと会館にて、ルイズ理事長の活動報告、ソプラノ歌手坂本真由美さんを招いてソプラノコンサートを入場料無料で開催しました。たくさんの皆様においでいただき、ルワンダの紹介やコンサートを楽しんでいただきました。当日の販売収益や募金は会の運営資金として活用させていただきました。

「ルワンダ写真展 IN ふくしま」を福島市コラッセふくしまにおいて 1 月 4 ～ 8 日に写真展を開催しました。

ウムチョイムイーザ学園や会の一年間の活動を紹介することが出来ました。

各種イベントに出展参加し、会員・支援者の方々と来場の皆様に会の活動とルワンダの紹介、ルワンダ民芸品やコーヒー・紅茶の販売を行いました。

昨年に引き続き、仮設住宅の方へ、定期的に計 1 3 回訪問してルワンダカフェを開催しました。ルワンダコーヒー・紅茶を楽しみながらルイズと話すことで避難者の皆様へ癒しのひと時を提供できました。ホープチャーチ様に資金協力をいただき衣料リサイクル事業を行っているザ・ピープル代表吉田恵美子さんの講演、いわき市の事業所への見学バスツアーを開催しました。

2001 年開校以来、教室の建築に全力を注ぎ幼稚園と小学校を完成、給食室建設と給食提供開始、健康診断プログラム導入など、子どもたちが学ぶ環境の充実を図ってきました。あらためて現状を見直したとき、いつまでも日本からの資金提供を前提とした学園運営でよいのか考えるべき時期でもあります。学園の運営母体の A D E S O C、校長とも意見交換し自立の必要性を理解していただき今後の方向性を確認しました。支援のあり方も徐々にですが、より自立するための組織作り、サポートに軸足を移して行きたいと思います。

#### <平成 27 年度役員紹介>

|           |           |
|-----------|-----------|
| 理事長       | 永遠瑠マリールイズ |
| 副理事長      | 倉持 睦子     |
| 副理事長・事務局長 | 本田 啓之     |
| 理事        | 斉藤 照子     |
| 理事        | 大河原 伸     |
| 理事        | 大槻 美智子    |
| 理事        | 穴戸 なつ美    |
| 理事        | 鈴木 恵子     |
| 監事        | 大和田 紋子    |

| 平成 2 6 年度 特定非営利活動に係る事業会計収支決算書 |            |                       |
|-------------------------------|------------|-----------------------|
| 1. 収入の部 (単位：円)                |            |                       |
|                               | 本年実績       | 備 考                   |
| 講演活動                          | 3,200,358  | 全国 6 3 ヶ所             |
| 販売活動                          | 1,674,614  | コーヒー・紅茶・民芸品売上         |
| 会費                            | 490,000    | 正会員 5000 円 x 9 8 口    |
|                               | 560,000    | 賛助会員 10,000 円 x 5 6 口 |
| 寄付金                           | 6,136,563  | 1 円から毎月 3 5 万円まで      |
| 500 円寄付                       | 408,000    | 3 5 口                 |
| 奨学基金寄付金                       | 81,000     | 学園卒業生への支援             |
| 現物寄付（絵本）                      | 39,000     | 中地様絵本販売               |
| ソーラー寄付金                       | 35,000     | ソーラーパネルの機材代として        |
| 給食プロジェクト                      | 2,939,848  | 給食室かまど・備品設置費          |
| 募金箱                           | 106,102    | 募金箱、イベント会場にて          |
| コンサート事業収入                     | 60,000     | コンサート収入               |
| 助成金収入                         | 666,227    | フェリシモ地球の村基金           |
| 受取利息収入                        | 170        | 銀行利息                  |
| 合計                            | 16,396,882 |                       |
| 2. 支出の部                       |            |                       |
|                               | 本年実績       | 備 考                   |
| 事業費                           | 15,378,725 | 学園への送金、仕入、イベント        |
| 管理費                           | 897,855    | 家賃、給与手当、通信費等          |
|                               | 16,276,580 |                       |
| 当期正味財産増減額                     | 120,302    |                       |



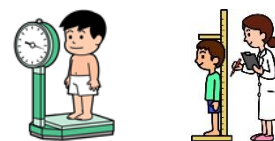


## 「ルワンダ・首都キガリの小学校の栄養転換と学校給食の役割」

A possible nutritional transition amongst Rwandan primary school children  
 -The role of the school lunch program at the Private school UmucoMwiza in Kigali-

ルワンダ紛争後20年、いまだに5歳未満の子どもたちの約44%が慢性的な栄養失調である(2010)。しかし、経済成長にともない、ルワンダは今後ますます欧米型の食品が容易に入手可能な状況にいる。私立「ウムチョムウイーザ学園」では、まだ給食活動が行われていない。教育的成果の基本である栄養面で学校給食の役割は重要であり、この学園はルワンダでのモデルケースになることが期待される。

給食開始前の栄養状態を調査するために、学園の小学生(6歳～16歳)180名を対象に身体計測を行った。その結果、栄養不良と過体重・肥満の値を示す児童が混在し、「栄養転換の始まり」が示された。この状況は栄養の「Double Burden」として知られている(2011)。



また、現在、小規模で行われている給食の栄養価を評価し、「日本の学校給食摂取基準」と比較した。結果は、全体的に栄養価は高いが動物性タンパク質、微量栄養素不足などが見られ、対応するためには今後の給食メニューに工夫が必要であると示した。

従って、「ウムチョムウイーザ学園」の学校給食プロジェクトは、栄養不良の子どもたちの栄養改善だけでなく、今後、心臓病、糖尿病などの病気予防として生活習慣病予備軍を減少させるためにも重要であると結論した。

\*「Double Burden」は、「体重不足」の割合が高い中、「肥満」が増えている状況をいう。

今回の研究を完成させるにあたり、永遠瑠マリルイズ様を始め、皆様のご協力に感謝申し上げます。

この度は給食開始、本当におめでとうございます。「ウムチョムウイーザ学園」がルワンダのモデル小学校になることを願い、今後も研究を続行する希望を持ち続ける所存です。

(新潟県佐渡在住)



給食室にて栄養価の評価



初めての身体計測



聞き取り調査



—事務局より—

ただいま、ウムチョムイーザ学園では、AMD Aの協力のもと、フェリシモ基金の助成金をいただき子ども達の健康診断を行っています。その様子を報告します。

なお、このプロジェクトは、フェリシモのHP（フェリシモ地球村フェイスブック）でもご覧になれます。

## プロジェクト名 ルワンダ子どもの健康プログラム 実施期間 2015年1月～12月

### プロジェクトの進捗状況

#### 1 子どもの健康診断の準備

キガリ市の小学校（約200名）の子ども達へ健康診断を行うために、検査器具を備えました。

また、健康診断を担当する医師、看護師も決まりました。



#### 2 子ども達の家族への説明会開催



ルワンダの学校で健康診断を行うのは初めてです。健康診断をなぜ行うのか、やり方について

学校で家族の方を対象に3月、説明会を開催しました。

参加者は当初の予定を大幅に上回り、たくさんの皆さんが熱心に耳を傾けてくれました。

説明会 のべ4回 参加者約100人

#### 3 健康診断の試行実施

本格実施を前に、3月 各学年5名全校で30名の子どもを対象に健康診断を試行的に実施しました。

家族の健康診断についての不安を解消していただけるよう、お母さん方が同席して検診が行われました。

その結果、心臓病1名 皮膚病1名の子供が見つかりました。このことは、子ども全員に健康診断を行うことがいかに大切か、その重要性を教えてくれる結果となりました。

今後、学校全員の子どもの健康診断を行い、定期的に実施されたデータをもとに健康管理を行っていきます。



### 支援者へのメッセージ

日本では、全国すべての学校で当たり前に行われている健康診断が、ルワンダでは今まで実施されてきませんでした。ルワンダ内戦から20年以上たって今回初めて健康診断プログラムが始まりました。

これもひとえに、全国のたくさんの皆様のご支援のおかげです。ありがとうございました。

そして、「子どもの健康プログラム」を全面的にサポートして下さったAMD Aの皆様に感謝です。

これからは、健康診断を支える医師スタッフの専門教育が求められます。スタッフの方のそうした教育研修を予定しています。また、子どもと家族を含めた地域の健康意識の向上にも取り組みます。

ルワンダの未来を担う子どもの未来のためにこれからもご支援をよろしくお願いします。

1つの学校のささやかな健康診断の取り組みが、やがて周辺の学校にも広がりルワンダの国に大きく花開くことを期待しております。

（文責 阿部貞夫）



ルワンダDAY  
in  
ふくしま

# Rwandaful Summer2015

～ルワンダとふくしまのキセキ～

ことしの「ルワンダDAY inふくしま」は、JICA二本松、福島大学と共催で桑山紀彦さんの「地球のステージ」をメインに、ルワンダ人留学生、福大生、福島の高校生、青年海外協力隊経験者のトークライブ、前日には、仮設住宅の方達との交流と2日間に渡って開催します。（両日とも入場無料）

## 「仮設住宅・ルワンダ人留学生・福島大学生交流イベント」

日時 2015年7月19日(日) 13:00～16:00

場所 平石小跡応急仮設住宅 福島県二本松市赤井沢472

内容 縁日、流しそうめん、ルワンダ人留学生による文化紹介、書道パフォーマンスなど

7/19

## 「ルイス講演、地球のステージ、トークライブ」

日時 2015年7月20日(祝・月) 11:00～16:00

場所 福島県教育会館 大ホール (福島県福島市上浜町10-38)

内容 11:00 マリールイズ講演会

13:00 第一部「地球のステージ」第二部「トークライブ」

7/20

## Rwandaful Summer2015

日時:2015.7.19(日)  
12:00～15:00

場所:平石小跡応急仮設住宅



縁日  
流しそうめん

ルワンダ留学生  
による文化紹介

書道  
パフォーマンス

福島大学生が中心となって、ルワンダの留学生を招き、平石仮設住宅で文化交流を図るイベントです。様々な企画を用意してあります。誰でも無料で参加できます！是非いらしてください♪



### 【アクセス】

二本松駅から県道355号線まで進み県道116号線に合流。県道116号線沿いを直進。車で約10分。

住所:福島県二本松市赤井沢472(旧平石小学校)

青年海外協力隊50周年記念



## Rwandaful Summer 2015

～ルワンダとふくしまのキセキ～

### 第一部 地球のステージ

桑山紀彦さん (NPO法人地球のステージ代表理事)

### 第二部 トークライブ

桑山紀彦さん マリールイズ (ルワンダの教育を考える会代表)  
JICA青年海外協力隊経験者 福島大学学生 ルワンダ人留学生 高校生



▼桑山紀彦さん  
NPO法人地球のステージ代表、精神科医。  
世界で心理社会的ケアや緊急医療救援  
に従事。現在は日本で「心のケア」にあたっ  
ている。



- ◆ 会場 福島県教育会館 大ホール  
〒960-8534 福島県福島市上浜町10-38
- ◆ お問い合わせ NPO法人ルワンダの教育を考える会  
〒960-8055 福島県福島市野田町4-8-20  
TEL/FAX 024-533-8289 E-mail info@rwanda-npo.org
- ◆ 主催 NPO法人 ルワンダの教育を考える会
- ◆ 共催 JICA二本松・福島大学
- ◆ 後援 福島県教育委員会・福島市教育委員会・読売新聞東京本社福島・朝日新聞福島総局・福島民報社・福島民友新聞社・NHK福島放送局・福島テレビ・福島中央テレビ・福島放送・テレビユー福島・ラジオ福島・ふくしまFM

2015.7.20 [月・祝]  
13:00 - 16:00

入場無料





# Rwanda ルワンダコーヒー

おいしいコーヒーを味わって  
ルワンダを応援してください！

200g

1個 1,200円

最小購入回数 5個

## ☆各種振替口座番号のご案内です！☆

会費振込・寄付・募金（奨学基金もよろしくお願いします。）

郵便振替口座：02290-0-97126

ゆうちょ口座間送金：18210-29980801（送金内容をお知らせください）

加入者名：NPO法人 ルワンダの教育を考える会

【ゆうちょ口座自動振込み寄付】 月一口500円から

ホームページ掲載 目標100名まで継続して募集します。現在37名登録

ソーラー発電…学園のソーラー発電機を増やし、電力の確保をしたいと考えています。

郵便振替口座：02200-2-77634

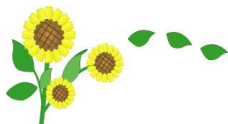
加入者名：ルワンダ ソーラー発電P



事務局では、事務局スタッフ及び各種イベント開催時、お手伝いくださる方を随時募集しています。一緒に楽しみませんか。連絡をお待ちしています。

### —編集後記—

「ルワンダの教育を考える会」結成から15年目になりました。7月20日「ルワンダ DAYin ふくしま」にてルイズの自叙伝「空を見上げて」を発行予定！ルワンダの子ども達を支えてくださっているすべての皆様に感謝です。



### NPO法人ルワンダの教育を考える会



理事長 永遠瑠 マリールイズ

〒960-8055

福島県福島市野田町四丁目 8-20

TEL / FAX: 024-533-8289

ホームページ: <http://www.rwanda-npo.org>

e-mail: [info@rwanda-npo.org](mailto:info@rwanda-npo.org)